

Windom の解答速報 杏林大学(医) 化学

I

- 問 1 (1) アー9
 (2) イー5 ウー0 エー (-3) 答は 3
 (3) オー1 カー2
- 問 2 (1) キー0 クー5
 (2) ケー0 コー5
 (3) サー3 シー4
- 問 3 (1) スー1 セー0 ソー (-1) 答は 1
 (2) ター1 チー5 ツー (-1) 答は 1

II

- 問 1 (1) アー3 イー1
 (2) ウー8
 (3) エー1
- 問 2 (1) オー8 カー2
 (2) キー3 クー4
- 問 3 (1) ケー4 コー1
 (2) サー2 シー2

III

- 問 1 アー2, 3
- 問 2 イー1 ウー5 エー0
- 問 3 (1) オー2 カー2 キー1
 (2) クー1
- 問 4 ケー1 コー6 サー (-1) 答は 1
- 問 5 シー1, 9

IV

- 問 1 (1) アー3
 (2) イー2
 (3) ウー3
 (4) エー4
 (5) オー3
 (6) カー4
- 問 2 (1) キー6
 (2) クー1
 (3) ケー3
 (4) コー5
 (5) サー2 シー7
 (6) スー3
 (7) セー2
 (8) ソー3
 (9) ター4

講評

マーク形式 1 年目である。計算数値をそのままマークさせる形式が多く、マークといえど例年より易化したとはいえない。

I から計算を伴った有機の問題で戸惑った受験生も多かったのではないかと。問 2(3)の異性体の個数が面倒であった。問 3は pH の定義と対数計算がしっかりできる者にとっては難しくない。

II の分子や多原子イオンの立体構造は、よく見かけるテーマである。確実に得点したい。

III の NH_3 の合成も頻出テーマである。問 1 で②だけでなく③を選べたかどうか。問 5 の単位換算(物理選択者に有利か)が確実にできたかどうかポイント。

IV の有機は問 1, 問 2 共に基本的。完答したい。

総じて、II, IV で確実に得点し、III の選択や計算でミスを最小限にとどめ、I でどの程度上乗せできるかで合否は決まるであろう。時間(60 分)を考慮すると 70% で十分である。